

厚生労働行政推進調査事業費（厚生労働科学特別研究事業）

感染症流行下における適切な乳幼児健康診査のための研究

分担研究報告書

感染症流行による母子の生活及び健康の影響

乳幼児健康診査事業担当者に対する調査より

研究分担者 山崎 嘉久 あいち小児保健医療総合センター 保健センター

研究協力者 佐々木 溪円 実践女子大学 生活科学部食生活科学科

杉浦 至郎 あいち小児保健医療総合センター 保健センター

## 研究要旨

[目的] 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行による親子の健康状態等への影響について、乳幼児健康診査（乳幼児健診）事業担当者の視点から明らかにすること。

[方法] 全国 1741 市区町村の事業担当者を対象とし、2020 年 9 月にインターネットによる調査を実施した。1182 市区町村から回答を得られたが、本報告では以下の質問に回答した 1180 件を解析対象とした。質問文は「COVID-19 の流行拡大によって [以下各項目] への影響を経験しているか」とし、項目は [乳幼児の心理的な健康状態（児心理）]、[乳幼児の身体的な健康状態（児身体）]、[保護者の心理的な健康状態（親心理）]、[親の養育態度や親子関係（親子関係）] 等とした。回答は 4 段階リッカート尺度法で求め、[とてもある] と [ややある] を「影響がある」と定義した。また、各項目の具体例を自由記述法で得て、意味の類似するテキストからカテゴリを生成した。

[結果] 「影響がある」とした市区町村数は、「児心理」678（57.5%）、「児身体」472（40.0%）、「親心理」1011（85.7%）、「親子関係」647（54.7%）であった。以下、自由記述のカテゴリを〈 〉で示し、市区町村数を併記する。各項目で多かったカテゴリは、「児心理」は〈ストレス〉410（34.8%）、〈発達の遅れ〉234（19.8%）、「児身体」は〈運動不足〉302（25.6%）、〈生活習慣の乱れ〉140（11.9%）、「親心理」は〈ストレス〉766（64.9%）、〈育児負担〉359（30.4%）、「親子関係」は〈親のストレス〉270（22.9%）、〈不適切養育〉268（22.7%）であった。

[結論] 乳幼児健診担当者は、COVID-19 流行に伴う親子の心身の健康や親子関係の変化を把握していた。その特徴として、〈ストレス〉や〈育児負担〉だけでなく、〈発達の遅れ〉、〈生活習慣の乱れ〉、〈不適切養育〉等の継続的な支援を要するケースが認められた。感染症の流行拡大に伴う健康危機管理においては、親子の健康や育児環境の支援にも注力した対策が必要である。

## 背景

乳幼児健診事業担当者は母子の地域における生活状況を適確に把握し、その支援にあたってきた。新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の対策として緊急事態宣言が発出されたことに伴い、我が国では外出自粛などの生活に直結する対応が求められた。乳幼児健康診査 (乳幼児健診) も、緊急事態宣言に併せて延期などがされた<sup>1, 2)</sup>。しかし、乳幼児健診事業担当者は、母子の生活等の変化について、専門的立場から把握していることが推察される。

### A. 研究目的

健診事業担当者等が把握した、COVID-19 の流行拡大による影響を質問紙調査によって明らかにし、今後の健康危機管理における母子の生活及び健康支援のための基礎資料を得ることを試みた。

### B. 研究方法

全国 1,741 自治体の乳幼児健診事業担当者を対象とし、オンラインで回答可能な形式の時期式質問紙に回答を依頼した。調査時期や方法は、「感染症流行下における適切な乳幼児健康診査のための研究」分担研究報告書に示した。

本報告書では、以下に示す親子の健康や生活状況に関する質問項目について示す。質問文は「COVID-19 の流行拡大によって [以下各項目] への影響を経験しているか」とし、項目は [乳幼児の心理的な健康状態 (児心理)]、[乳幼児の身体的な健康状態 (児身体)]、[保護者の心理的な健康状態 (親心理)]、[親の養育態度や親子関係 (親子関係)]、[乳幼児と保護者の日常生活の状況 (日常生活)]、[保護者の子育て環境 (育児環境)]、[子育てに関する保護者自身のスマホ等の利用 (親 PDA (personal digital assistant))]、[乳幼児

のスマホ等の利用 (児 PDA)]、[保護者や乳幼児と近隣住民との関係 (近隣関係)]とした。回答は 4 段階リッカート尺度法で求め、[とてもある]と [ややある]を「影響あり」と定義した。また、各項目の具体例を自由記述法で得て、意味の類似するテキストからカテゴリを生成した。なお、複数のカテゴリが含まれるテキストでは、それぞれのカテゴリとして計上した。

3 歳児健康診査の対象者数で、自治体の規模を人口学的に階層化し、人口学的規模と各項目との関連を Wilcoxon rank sum test で分析した。この統計学的解析においては、有意水準を 5%未満に設定し、STATA Ver. 15.1 で行った。

### C. 研究結果

#### 1. 回収率

1182 自治体 (回答率 67.9%) から回答が得られ、本報告書で示す質問項目には 1180 自治体が回答した。解析対象とした自治体規模別の回答数を表 1 に示す。

表 1. 解析対象自治体

自治体規模	自治体数	(%)
1000 人以上	171	14.5
500~999 人	148	12.5
250~499 人	213	18.1
100~249 人	249	21.1
50~99 人	157	13.3
50 人未満	242	20.5
合計	1180	

#### 2. 親子の健康および生活への影響

すべての項目について、「影響あり」と自治体規模との間に有意な関連がみられ、大規模自治体が「影響あり」と回答する傾向がみられた (表 2)。回答した自治体全体でみると、70%以上の自治体が「親心理」、「日常生活」、「育児環

境」について「影響あり」と回答した。乳幼児については、すべての自治体規模で「児心理」に「影響あり」とする割合が「児身体」の値を上回っていた。

自由記述で得られた具体的な影響を表 3 に示した。以下、カテゴリは〈 〉で示す。「児心理」では、外出制限による〈ストレス〉、乳幼児健診で把握された〈発達の遅れ〉、〈暴言・暴力〉、〈保護者ストレス〉による影響の順に多くみられ、これらは自治体規模と関連が認められた。また、全体で 16 自治体 (1.4%) は保護者などがマスクを装着する生活が、コミュニケーションの発達の遅れと関連する可能性に言及していた。少数ではあるが、父親の在宅勤務により家族で過ごす時間が増えたことが、〈精神的に安定〉につながったという肯定的な意見もみられた。「児身体」では、外出自粛による〈運動不足〉、在宅時間の長期化による〈生活習慣の乱れ〉や〈体重増加〉、菓子の摂取過多などによる〈う蝕〉の順に多く挙げられた。これらのうち〈体重増加〉以外の項目の出現率には、自治体規模と関連がみられた。全体で 140 自治体が〈生活習慣の乱れ〉を挙げていたが、このうち 63 自治体は食習慣、38 自治体は睡眠について言及していた。

「親心理」では、〈育児負担〉、〈孤立感〉、〈育児不安〉といった育児に関連するカテゴリが認められた。また、うつ症状などの〈精神症状〉が出現したケースも挙げられていた。一方で、少数意見ではあるが、父親が在宅勤務になることによる〈メリット〉を挙げる自治体があった。〈ストレス〉、〈育児負担〉、〈育児不安〉、〈精神症状〉、〈経済的不安〉の出現率は、自治体規模と関連がみられた。

「親子関係」では、〈親ストレス〉、〈不適切養育〉、〈児ストレス〉、〈メリット〉の順に多くみられ、これらの出現率は自治体規模と関連し

ていた。〈不適切養育〉では、健やか親子 2 1 (第 2 次) の評価指標として用いている乳幼児健診の問診項目で「感情的に叩いた」などの該当率が増加しているなどの回答がみられた。また、保育所の利用制限に伴い親子が接する時間が増えたことで、母親が児の発達段階に適応した子育てができない事例などの〈発達不適応〉が挙げられた。

「日常生活」では〈外出自粛〉に関する記述が多くみられ、外出制限に伴う〈保育所等利用制限〉、〈施設等利用制限〉や〈育児負担〉が挙げられた。また、乳幼児健診や予防接種を含む〈受診控え〉事例を挙げる自治体も認められた。自治体規模との関連は、〈外出自粛〉、〈生活習慣の乱れ〉、〈子ども交流減〉、〈経済的不安〉に認められた。

「育児環境」では、〈交流減少・孤立〉、〈外出自粛〉、〈施設等利用制限〉が全体の 30% 以上の自治体で挙げられた。自治体規模との関連は、〈交流減少・孤立〉、〈外出自粛〉、〈施設等利用制限〉、〈育児負担〉、〈夫婦不和〉、〈親族支援減少〉に認められた。

「親 PDA」では、〈子育て情報〉の収集や〈在宅時間〉の増加による使用時間の増加が挙げられ、収集した〈不正確な情報〉に保護者が振り回される事例も挙げられた。これらのカテゴリはみられた。「児 PDA」では、〈在宅時間〉の増加による使用時間の増加が全体の 30% 以上の自治体で挙げられた。また、〈在宅時間〉、〈発達等影響〉、〈家事時間確保〉と自治体規模との関連が認められた。

「近隣関係」では、住民間の〈交流減少〉、親子への〈支援困難〉、近隣住民からの〈遊び苦情〉や〈騒音問題〉、住民からの泣き声に対する〈虐待通報〉が挙げられ、これらのカテゴリに自治体規模との関連がみられた。

## D. 考察

COVID-19 の対策として緊急事態宣言が発出されたことに伴い、我が国では外出自粛や各種施設の利用制限などの生活に直結する対応が求められた。本調査は乳幼児健診事業担当者に対する調査であるが、COVID-19 への社会的対応が親子の生活や育児環境だけでなく、心身の健康状態に影響していたことが示された。また、その影響は自治体規模と関連しており、大規模自治体ほど影響が大きい傾向がみられた。2020年4月7日に発出された緊急事態宣言は、当初、東京、神奈川、埼玉、千葉、大阪、兵庫、福岡の7都府県が対象であった。これらの7都府県の自治体が占める割合は、大規模自治体ほど多くなっている。従って、COVID-19の陽性者数や緊急事態宣言の発出が、本調査でみられた自治体規模との関連に影響を与えている可能性も考えられる。

項目別でみると、「日常生活」では、〈外出自粛〉が最も挙げられており、その他のカテゴリへの影響が言及された記述がみられた。〈外出自粛〉や〈保育所等利用制限〉、〈施設等利用制限〉は、育児環境の孤立を深めるものと考えられる。既報では、地域交流がない、相談相手がいない保護者は育児困難感が高いことが示されている<sup>3-5)</sup>。従って、本調査において、〈外出自粛〉が〈育児負担〉、〈孤立感〉、〈育児不安〉の要因となったものと推察される。望月らは、育児困難感や育児支援者がいない環境が、児童虐待の要因になることを指摘している<sup>6)</sup>。本調査では、〈育児負担〉や〈孤立感〉を認めたケースと〈不適切養育〉に至ったケースは同一事例ではない。しかし、母子保健事業担当者には、COVID-19による社会環境の変化によって〈不適切養育〉に至るリスクが高まることを考慮した、継続的な支援が望まれる。

本調査では、児の〈発達の遅れ〉や〈生活習慣の乱れ〉を挙げた自治体が少なくなかった。児が自分をコントロールする能力の基礎は生後6か月頃から形成されるが、乳幼児期を通して発達段階にあわせて生活習慣を確立する必要がある。乳幼児の生活習慣の獲得過程において、保護者の規則正しい生活リズムが必要である。しかし、〈外出自粛〉や〈保育所等利用制限〉、〈育児負担〉は保護者の生活リズムを保持し難い環境にあったものと考えられる。

## E. 結論

乳幼児健診事業担当者は、COVID-19流行に伴う親子の心身の健康、親子関係や育児環境の変化を把握していた。その特徴として、〈ストレス〉や〈育児負担〉だけでなく、〈発達の遅れ〉、〈生活習慣の乱れ〉、〈不適切養育〉等の継続的な支援を要するケースが認められた。感染症の流行拡大に伴う健康危機管理においては、親子の健康や育児環境の支援にも注力した対策が必要である。

### 【参考文献】

- 1) 厚生労働省子ども家庭局家庭福祉課・厚生労働省子ども家庭局母子保健課事務連絡 母子保健事業等の実施に係る新型コロナウイルスへの対応について 令和2年2月28日・4月1日・4月10日・4月15日
- 2) 厚生労働省5局・10課事務連絡 新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言の解除を踏まえた各種健診等における対応について 令和2年5月26日
- 3) 大浦早智、他. 子育て中の母親の育児困難感と背景要因. 地域交流の有無による比較. 母性衛生 2020; 61: 28-40.

4) 前田薫、他. 乳幼児をもつ母親の育児ストレスの要因に関する文献検討. 三重県立看護大学紀要 2018; 21: 97-108.

5) 申沙羅、他. 生後 2~3 か月児がいる母親の育児困難感とその関連要因. 日本看護研究学会雑誌 2015; 38: 33-40.

6) 望月由妃子、他. 養育者の育児不安および育児環境と虐待との関連. 保育園における研究. 日本公衆衛生雑誌 2014; 61: 263-274.

## **F. 研究発表**

### **1. 論文発表**

「小児保健研究」に投稿予定

### **2. 学会発表**

第 68 回日本小児保健協会学術集会で発表予定

## **G. 知的財産権の出願・登録状況(予定を含む)**

### **1. 特許取得**

なし

### **2. 実用新案登録**

なし

### **3. その他**

なし

表2 親子の健康および生活への影響

	合計		1000人以上		500~999人		250~499人		100~249人		50~99人		50人未満		P
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	
<u>児心理</u>															
影響あり	678	57.5	132	77.2	111	75.0	131	61.5	162	65.1	67	42.7	75	31.0	<0.001
とても感じる	171	14.5	46	26.9	26	17.6	34	16.0	40	16.1	17	10.8	8	3.3	
やや感じる	507	43.0	86	50.3	85	57.4	97	45.5	122	49.0	50	31.8	67	27.7	
あまり感じない	495	41.9	38	22.2	37	25.0	82	38.5	85	34.1	89	56.7	164	67.8	
まったく感じない	7	0.6	1	0.6	0	0.0	0	0.0	2	0.8	1	0.6	3	1.2	
<u>児身体</u>															
影響あり	472	40.0	96	56.1	67	45.3	90	42.3	112	45.0	51	32.5	56	23.1	<0.001
とても感じる	108	9.2	30	17.5	8	5.4	19	8.9	32	12.9	13	8.3	6	2.5	
やや感じる	364	30.8	66	38.6	59	39.9	71	33.3	80	32.1	38	24.2	50	20.7	
あまり感じない	691	58.6	74	43.3	80	54.1	121	56.8	133	53.4	104	66.2	179	74.0	
まったく感じない	17	1.4	1	0.6	1	0.7	2	0.9	4	1.6	2	1.3	7	2.9	
<u>親心理</u>															
影響あり	1011	85.7	166	97.1	142	95.9	196	92.0	217	87.1	121	77.1	169	69.8	<0.001
とても感じる	363	30.8	85	49.7	56	37.8	70	32.9	83	33.3	35	22.3	34	14.0	
やや感じる	648	54.9	81	47.4	86	58.1	126	59.2	134	53.8	86	54.8	135	55.8	
あまり感じない	168	14.2	5	2.9	6	4.1	17	8.0	32	12.9	36	22.9	72	29.8	
まったく感じない	1	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.4	

P: Wilcoxon rank sum test

(表 2 続き)

	合計		1000 人以上		500～999 人		250～499 人		100～249 人		50～99 人		50 人未満		P
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	
<u>親子関係</u>															
影響あり	647	54.8	134	78.4	100	67.6	134	62.9	149	59.8	57	36.3	73	30.2	<0.001
とても感じる	168	14.2	44	25.7	32	21.6	25	11.7	42	16.9	13	8.3	12	5.0	
やや感じる	479	40.6	90	52.6	68	45.9	109	51.2	107	43.0	44	28.0	61	25.2	
あまり感じない	525	44.5	37	21.6	47	31.8	79	37.1	99	39.8	100	63.7	163	67.4	
まったく感じない	8	0.7	0	0.0	1	0.7	0	0.0	1	0.4	0	0.0	6	2.5	
<u>日常生活</u>															
影響あり	914	77.5	157	91.8	128	86.5	181	85.0	196	78.7	107	68.2	145	59.9	<0.001
とても感じる	248	21.0	56	32.7	44	29.7	48	22.5	57	22.9	23	14.6	20	8.3	
やや感じる	666	56.4	101	59.1	84	56.8	133	62.4	139	55.8	84	53.5	125	51.7	
あまり感じない	263	22.3	14	8.2	20	13.5	32	15.0	52	20.9	50	31.8	95	39.3	
まったく感じない	3	0.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.4	0	0.0	2	0.8	
<u>育児環境</u>															
影響あり	870	73.7	157	91.8	121	81.8	184	86.4	185	74.3	103	65.6	120	49.6	<0.001
とても感じる	272	23.1	68	39.8	44	29.7	52	24.4	67	26.9	25	15.9	16	6.6	
やや感じる	598	50.7	89	52.0	77	52.0	132	62.0	118	47.4	78	49.7	104	43.0	
あまり感じない	306	25.9	14	8.2	26	17.6	28	13.1	63	25.3	54	34.4	121	50.0	
まったく感じない	4	0.3	0	0.0	1	0.7	1	0.5	1	0.4	0	0.0	1	0.4	

(表 2 続き)

	合計		1000人以上		500～999人		250～499人		100～249人		50～99人		50人未満		P
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	
<u>親 PDA</u>															
影響あり	394	33.4	91	53.2	55	37.2	88	41.3	88	35.3	30	19.1	42	17.4	<0.001
とても感じる	115	9.7	32	18.7	13	8.8	23	10.8	29	11.6	10	6.4	8	3.3	
やや感じる	279	23.6	59	34.5	42	28.4	65	30.5	59	23.7	20	12.7	34	14.0	
あまり感じない	764	64.7	77	45.0	90	60.8	124	58.2	158	63.5	125	79.6	190	78.5	
まったく感じない	22	1.9	3	1.8	3	2.0	1	0.5	3	1.2	2	1.3	10	4.1	
<u>児 PDA</u>															
影響あり	518	43.9	104	60.8	76	51.4	100	46.9	120	48.2	55	35.0	63	26.0	<0.001
とても感じる	123	10.4	32	18.7	13	8.8	24	11.3	36	14.5	11	7.0	7	2.9	
やや感じる	395	33.5	72	42.1	63	42.6	76	35.7	84	33.7	44	28.0	56	23.1	
あまり感じない	636	53.9	65	38.0	70	47.3	111	52.1	125	50.2	99	63.1	166	68.6	
まったく感じない	26	2.2	2	1.2	2	1.4	2	0.9	4	1.6	3	1.9	13	5.4	
<u>近隣関係</u>															
影響あり	246	20.8	71	41.5	33	22.3	39	18.3	59	23.7	18	11.5	26	10.7	<0.001
とても感じる	62	5.3	24	14.0	6	4.1	8	3.8	17	6.8	4	2.5	3	1.2	
やや感じる	184	15.6	47	27.5	27	18.2	31	14.6	42	16.9	14	8.9	23	9.5	
あまり感じない	897	76.0	95	55.6	107	72.3	165	77.5	185	74.3	138	87.9	207	85.5	
まったく感じない	37	3.1	5	2.9	8	5.4	9	4.2	5	2.0	1	0.6	9	3.7	

表3 親子の健康および生活への影響の具体例

	合計		1000人以上		500~999人		250~499人		100~249人		50~99人		50人未満		P
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	
<u>児心理</u>															
ストレス	410	34.8	73	42.7	62	41.9	87	40.8	97	39.0	44	28.0	47	19.4	<0.001
発達の遅れ	234	19.8	54	31.6	38	25.7	47	22.1	47	18.9	23	14.6	25	10.3	<0.001
暴言・暴力	130	11.0	23	13.5	20	13.5	35	16.4	34	13.7	9	5.7	9	3.7	<0.001
保護者ストレス	116	9.8	24	14.0	24	16.2	20	9.4	22	8.8	10	6.4	16	6.6	<0.001
母子分離不安	89	7.5	17	9.9	11	7.4	13	6.1	28	11.2	10	6.4	10	4.1	0.084
チック等	22	1.9	4	2.3	5	3.4	5	2.3	5	2.0	2	1.3	1	0.4	0.039
精神的に安定	5	0.4	0	-	1	0.7	0	-	1	0.4	0	-	3	1.2	0.132
<u>児身体</u>															
運動不足	302	25.6	64	37.4	38	25.7	62	29.1	66	26.5	31	19.7	41	16.9	<0.001
生活習慣の乱れ	140	11.9	32	18.7	24	16.2	31	14.6	23	9.2	13	8.3	17	7.0	<0.001
体重増加	77	6.5	10	5.8	16	10.8	17	8.0	11	4.4	9	5.7	14	5.8	0.202
う蝕	25	2.1	7	4.1	3	2.0	5	2.3	4	1.6	5	3.2	1	0.4	0.046
その他	25	2.1	5	2.9	5	3.4	8	3.8	6	2.4	1	0.6	0	-	

P: Wilcoxon rank sum test

(表3 続き)

	合計		1000人以上		500～999人		250～499人		100～249人		50～99人		50人未満		P
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	
<u>親心理</u>															
ストレス	766	64.9	133	77.8	106	71.6	161	75.6	172	69.1	84	53.5	110	45.5	<0.001
育児負担	359	30.4	62	36.3	57	38.5	70	32.9	75	30.1	41	26.1	54	22.3	<0.001
感染の不安	261	22.1	45	26.3	30	20.3	49	23.0	51	20.5	38	24.2	48	19.8	0.300
孤立感	167	14.2	28	16.4	23	15.5	25	11.7	40	16.1	22	14.0	29	12.0	0.322
育児不安	145	12.3	34	19.9	31	20.9	31	14.6	26	10.4	9	5.7	14	5.8	<0.001
精神症状	134	11.4	31	18.1	16	10.8	25	11.7	29	11.6	9	5.7	24	9.9	0.008
経済的不安	48	4.1	10	5.8	6	4.1	9	4.2	15	6.0	5	3.2	3	1.2	0.034
メリット	9	0.8	2	1.2	1	0.7	1	0.5	2	0.8	1	0.6	2	0.8	0.859
<u>親子関係</u>															
親ストレス	270	22.9	52	30.4	46	31.1	59	27.7	67	26.9	23	14.6	23	9.5	<0.001
不適切養育	268	22.7	52	30.4	42	28.4	55	25.8	69	27.7	20	12.7	30	12.4	<0.001
児ストレス	71	6.0	13	7.6	12	8.1	18	8.5	18	7.2	7	4.5	3	1.2	<0.001
メリット	36	3.1	10	5.8	4	2.7	9	4.2	7	2.8	1	0.6	5	2.1	0.015
発達不適応	27	2.3	8	4.7	2	1.4	5	2.3	3	1.2	2	1.3	7	2.9	0.376
その他	12	1.0	0	-	5	3.4	1	0.5	3	1.2	3	1.9	0	-	

(表3 続き)

	合計		1000人以上		500～999人		250～499人		100～249人		50～99人		50人未満		P
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	
<u>日常生活</u>															
外出自粛	706	59.8	116	67.8	93	62.8	130	61.0	152	61.0	96	61.1	119	49.2	<0.001
生活習慣の乱れ	183	15.5	41	24.0	27	18.2	44	20.7	29	11.6	17	10.8	25	10.3	<0.001
保育所等利用制限	179	15.2	28	16.4	21	14.2	31	14.6	47	18.9	22	14.0	30	12.4	0.419
施設等利用制限	152	12.9	21	12.3	29	19.6	29	13.6	24	9.6	24	15.3	25	10.3	0.149
育児負担	125	10.6	22	12.9	16	10.8	17	8.0	31	12.4	18	11.5	21	8.7	0.455
子ども交流減	118	10.0	33	19.3	21	14.2	15	7.0	19	7.6	14	8.9	16	6.6	<0.001
受診控え	107	9.1	21	12.3	11	7.4	19	8.9	28	11.2	12	7.6	16	6.6	0.138
感染の不安	105	8.9	18	10.5	13	8.8	22	10.3	20	8.0	14	8.9	18	7.4	0.268
経済的不安	55	4.7	10	5.8	7	4.7	16	7.5	13	5.2	2	1.3	7	2.9	0.026
メリット	20	1.7	4	2.3	4	2.7	3	1.4	5	2.0	0	-	4	1.7	0.259
PDA利用増加	17	1.4	1	0.6	3	2.0	5	2.3	5	2.0	2	1.3	1	0.4	0.458
その他	13	1.1	0	-	5	3.4	2	0.9	2	0.8	0	-	4	1.7	

(表3 続き)

	合計		1000人以上		500～999人		250～499人		100～249人		50～99人		50人未満		P
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	
<u>育児環境</u>															
交流減少孤立	406	34.4	77	45.0	57	38.5	81	38.0	86	34.5	50	31.8	55	22.7	<0.001
外出自粛	383	32.5	59	34.5	60	40.5	75	35.2	79	31.7	49	31.2	61	25.2	0.004
施設等利用制限	369	31.3	72	42.1	51	34.5	90	42.3	66	26.5	36	22.9	54	22.3	<0.001
保育園等利用制限	83	7.0	10	5.8	12	8.1	23	10.8	17	6.8	12	7.6	9	3.7	0.138
育児負担	70	5.9	12	7.0	14	9.5	13	6.1	19	7.6	7	4.5	5	2.1	0.008
夫婦不和	58	4.9	23	13.5	9	6.1	11	5.2	8	3.2	4	2.5	3	1.2	<0.001
親族支援減少	48	4.1	4	2.3	3	2.0	9	4.2	16	6.4	9	5.7	7	2.9	<0.001
感染予防	17	1.4	3	1.8	1	0.7	3	1.4	5	2.0	2	1.3	3	1.2	0.957
その他	24	2.0	6	3.5	6	4.1	2	0.9	5	2.0	2	1.3	3	1.2	
<u>親 PDA</u>															
子育て情報	185	15.7	53	31.0	24	16.2	43	20.2	39	15.7	11	7.0	15	6.2	<0.001
在宅時間	113	9.6	18	10.5	22	14.9	28	13.1	26	10.4	9	5.7	10	4.1	<0.001
不正確な情報	58	4.9	16	9.4	9	6.1	12	5.6	11	4.4	3	1.9	7	2.9	<0.001
相談・つながり	36	3.1	8	4.7	5	3.4	5	2.3	12	4.8	1	0.6	5	2.1	0.110
感染症情報	21	1.8	6	3.5	1	0.7	3	1.4	2	0.8	4	2.5	5	2.1	0.839
その他	47	4.0	7	4.1	2	1.4	11	5.2	11	4.4	6	3.8	10	4.1	

(表3 続き)

	合計		1000人以上		500～999人		250～499人		100～249人		50～99人		50人未満		P
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	
<u>児PDA</u>															
在宅時間	418	35.4	78	45.6	67	45.3	77	36.2	102	41.0	38	24.2	56	23.1	<0.001
発達等影響	40	3.4	8	4.7	6	4.1	6	2.8	9	3.6	4	2.5	7	2.9	<0.001
痲癩等対策	38	3.2	8	4.7	3	2.0	12	5.6	6	2.4	6	3.8	3	1.2	0.075
家事時間確保	36	3.1	7	4.1	6	4.1	10	4.7	5	2.0	5	3.2	3	1.2	0.036
制限困難	31	2.6	3	1.8	4	2.7	8	3.8	10	4.0	4	2.5	2	0.8	0.408
その他	15	1.3	5	2.9	3	2.0	2	0.9	3	1.2	1	0.6	1	0.4	
<u>近隣関係</u>															
交流減少	154	13.1	36	21.1	22	14.9	19	8.9	38	15.3	15	9.6	24	9.9	0.004
支援困難	50	4.2	15	8.8	8	5.4	10	4.7	10	4.0	5	3.2	2	0.8	<0.001
遊び苦情	27	2.3	3	1.8	6	4.1	8	3.8	8	3.2	1	0.6	1	0.4	0.035
騒音問題	25	2.1	10	5.8	2	1.4	4	1.9	9	3.6	0	-	0	-	<0.001
虐待通報	9	0.8	6	3.5	1	0.7	0	-	2	0.8	0	-	0	-	0.001
その他	16	1.4	5	2.9	2	1.4	6	2.8	2	0.8	1	0.6	0	-	